

シルガード[®]9 接種方法・価格

- ガーダシルと同じ接種間隔と接種方法（3回接種が必要。2回目は初回接種後2ヶ月後、3回目は初回接種後6ヶ月）ですが、**事前登録**が必要です。
- 9歳以上の女性を対象に、1回あたり0.5mLを筋肉内注射します。接種年齢の上限はありません。
- 価格は1回あたり30,000円（自費・税込）です。
- 定期接種ではありません。

接種するには、予約と登録が必要

- 事前に電話で接種日を予約して下さい（0438—72—9916（内科受付））。
- 接種希望者は、御自身で**ワクチンQダイアリー**（←詳しくはこちらをクリック）への登録が必要です。院内で登録していただく必要がありますので、スマートフォンかタブレットを御持参下さい。**全例登録が義務づけられています**。この登録をしないと接種をすることができません。
- スマートホン又はタブレットから登録サイトにアクセスし、御自身の情報を入力していただきます
- 医師は接種希望者のワクチンQダイアリーにアクセスし、確認後に接種します。
- 接種後に、次回接種希望日時を受付事務で予約していただきます。

登録が必要な理由

- 全例調査で情報収集が行われるため、登録が必要となります。
- 既存のHPVワクチンでは接種後に、広い範囲にひろがる痛みや手足の動かしにくさ、不随意運動などを中心とする「多様な症状」が認められました。このためシルガード[®]9は「多様な症状」を「重要な不足情報」と位置付け、被接種者の全例登録で、「多様な症状」を疑う症例の情報を収集することになっています。さらに、一般使用成績調査により5000例の被接種者の情報も収集することになっています。
- 厚生労働省の調査によれば、既存HPVワクチン接種後の「多様な症状」は機能性身体症状と考えられ、また、HPVワクチン接種後の局所の疼痛や不安等が機能性身体症状を惹起したきっかけとなったことは否定できないが、接種後1か月以上経過してから発症している症例は、接種との因果関係を疑う根拠に乏しいとされています。また、HPVワクチン接種歴のない人にも、HPVワクチン接種後に報告された「多様な症状」のある方が一定数いたことも明らかになっています。